

高齢者叙勲



「京都府の農業振興に尽力」

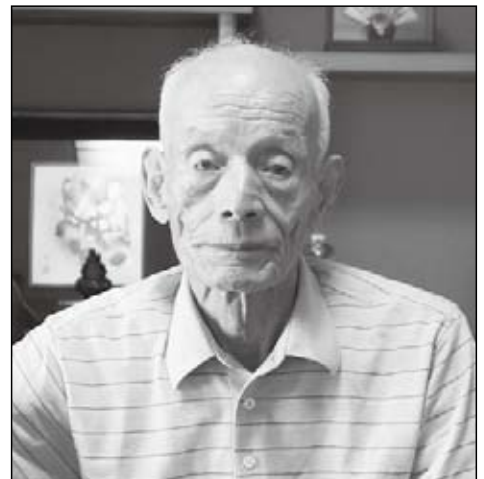
瑞宝双光章

大和田 正直さん(八木町・88)

昭和22年に京都府技術吏員に任命され、昭和24年から農業講習所(現・農業大学校)の発足に尽力。一般教養を重視した技術者の育成に従事されました。作物課長在任中は、水稲生産が質より量重視の時代に品質を重視した品種の改良、選定を行い、今日のブランド米の基礎を築かれました。昭和44年からは農業試験場長として、日本一の品質を誇る「丹波黒大豆」の品種改良と増産に取り組み、農業の振興と農家所得の向上に貢献されました。農蚕茶業課長を経て昭和48年に農業指導所長に就任。超省力養蚕の研究に力を注ぎ、農家の負担軽減を図られました。退職後は、京都府造林公社(現・京都府森と緑の公社)常務理事として活躍されました。

勲章は、国家や公共に対して功労のあった方に国から授与される記事のことで、春秋叙勲、危険業務従事者叙勲、高齢者叙勲、死亡叙勲などがあります。高齢者叙勲は、春秋叙勲によって勲章を授与されていない功労者に対して、年齢88歳に達した機会に勲章が授与されます。

☆叙勲は荣誉のしるし☆



「地方行政の伸展に寄与」

旭日单光章

井尻 繁雄さん(園部町・88)

昭和46年から昭和54年までの2期8年間、旧園部町議会議員に選出され、その間、昭和50年から4年間は園部町議長として、同じく昭和50年から4年間は京都府町村議会議長会副会長として行政活動に尽力されました。在職期間中は、地域と町行政また府行政とのパイプ役となり、地域住民のあらゆる要望や複雑多岐にわたる問題の解決に取り組まれました。

その後、昭和55年から5年間は、園部町教育委員会教育長に就任。青少年の心身の健全な育成に力点をおいて、教育環境の整備や安全教育の推進を積極的に行う一方、住民の健康増進およびスポーツ振興に寄与され、教育行政の伸展にも尽くされました。